

資料 1

令和4年9月22日
総合教育会議

保護者アンケートの結果を踏まえた 今後の中学校統合について

令和4年9月

安芸高田市教育委員会
教育総務課学校統合推進室

【項目】

1. 校数の検討
2. 統合時期の検討
3. 今後の取組

1. 校数の検討

(1) 1校案

場 所	通学を考慮し、中心となる「吉田町内の都市計画区域内」とする。			
校 舎	吉田町内に新築 施設整備費（概算） 29億円			
生徒数 学級数 見込み		令和8年度	令和15年度	
	生徒数	611人	390人	
	1年生	5学級	3学級	
	2年生	5学級	4学級	
	3年生	6学級	4学級	
通 学	主要場所からの距離・時間		吉田中学校まで直接運行する場合	
	場 所	距離・時間	場 所	距離・時間
	上根郵便局	14.6km 20分	深瀬	14.0km 18分
	生桑郵便局	21.1km 26分	吉田口駅	7.0km 10分
	川根エコミュージアム	26.4km 32分	ひとは作業所	11.2km 17分
	高宮支所	17.9km 26分	有保簡易郵便局	10.7km 16分
	平均 距離 15.3km、時間 22分			

<考察>

- 生徒数 ● 将来にわたってクラス替えが可能な規模が確保できる。
- 校 舎 ● 現「吉田中学校」校舎（築53年）は老朽化のため、将来にわたって使用することは困難。
● 現「吉田中学校」校舎では教室数の不足（令和8年度 普通学級16学級 + 特別支援教室5学級（見込み））
- 通 学 ● 通学距離が長く、通学時間を要す。

(2) 2校案

区分	案1				
場所	通学の利便性を考慮して、統合校を次のとおりとする。				
	グループ	aグループ		bグループ	
	統合地域	吉田・八千代・美土里		高宮・甲田・向原	
	統合校	吉田		甲田	
生徒数 学級数 見込み		令和8年度		令和15年度	
	グループ	a	b	a	b
	生徒数	374人	237人	252人	138人
	1年生	4学級	2学級	2学級	1学級
	2年生	3学級	3学級	2学級	2学級
	3年生	4学級	3学級	3学級	2学級
通学	●aグループ 吉田中学校までの距離・時間				
	場所	距離・時間		場所	距離・時間
	上根郵便局	14.6km 20分		生桑郵便局	21.1km 26分
	八千代支所	10.0km 14分		美土里支所	13.6km 18分
	平均 距離 14.8km、時間 19分				
	●bグループ 甲田中学校までの距離・時間				
	場所	距離・時間		場所	距離・時間
	川根エコミュージアム	25.1km 34分		ひとは作業所	13.5km 18分
	高宮支所	12.5km 18分		向原支所	10.0km 14分
	平均 距離 15.3km、時間 21分				

<考察>

- 生徒数 ● 生徒数に差があり、10年以内にクラス替えができない学年が発生。
- 校舎 ● 2校を新設することは困難。【参考】2校新設費用（概算）45億円
● 吉田中（築53年）・甲田中（築51年）共に老朽化のため、長寿命化工事が必要。
- 通学 ● 通学距離が長く、通学時間を要す。

アンケート結果から「通学時間」を気にする割合が高いので、2校案として次の案を示す。

区 分	案2				
場 所	通学の利便性を考慮して、統合校を次のとおりとする。				
	グループ	cグループ		dグループ	
	統合地域	吉田・八千代・向原		美土里・高宮・甲田	
	統合校	吉田		高宮	
生徒数 学級数 見込み		令和8年度		令和15年度	
	グループ	c	d	c	d
	生徒数	403人	208人	253人	137人
	1年生	4学級	2学級	2学級	1学級
	2年生	3学級	2学級	2学級	1学級
	3年生	4学級	2学級	3学級	2学級
通 学	●cグループ 吉田中学校までの距離・時間				
	場 所	距離・時間		場 所	距離・時間
	上根郵便局	14.6km	20分	ひとは作業所	11.2km 17分
	八千代支所	10.0km	14分	向原支所	8.0km 13分
	平均 距離 10.9km、時間 16分				
	●dグループ 高宮中学校までの距離・時間				
	場 所	距離・時間		場 所	距離・時間
	生桑郵便局	13.7km	16分	甲田支所	12.1km 16分
	美土里支所	11.7km	14分	吉田口駅	15.8km 21分
	平均 距離 13.3km、時間 17分				

<考察>

- 生徒数 ● 生徒数に差があり、10年以内にクラス替えができない学年が発生。
- 校 舎 ● 2校を新設することは困難。
● 20年の利用を見込んだ場合、吉田中(築53年)、高宮中(築35年)の両校舎の長寿命化工事が必要
- 通 学 ● 案1より案2の方が距離及び時間が短縮できる。
● スクールバスの利用者が多くなる。(特に甲田から)

(3) 3校案

区 分	aグループ			bグループ			cグループ		
場 所	統合地域	吉田 八千代		統合地域	美土里 高宮		統合地域	甲田 向原	
	統合校	吉田		統合校	高宮		統合校	甲田	
※現生徒数を考慮し、統合校を設定									
生徒数 学級数 見込み		令和8年度	令和15年度		令和8年度	令和15年度		令和8年度	令和15年度
	生徒数	321人	222人	生徒数	90人	59人	生徒数	189人	109人
	1年生	4学級	2学級	1年生	1学級	1学級	1年生	2学級	1学級
	2年生	3学級	3学級	2年生	1学級	1学級	2年生	2学級	1学級
	3年生	4学級	2学級	3年生	1学級	1学級	3年生	2学級	2学級
通 学	吉田中学校までの距離・時間			高宮中学校までの距離・時間			甲田中学校までの距離・時間		
	場 所	距離・時間		場 所	距離・時間		場 所	距離・時間	
	上根郵便局	14.6km 20分		川根コミュニティアム	13.3km 19分		ひとは作業所	13.5km 18分	
	八千代支所	10.0km 14分		生桑郵便局	13.7km 16分		有保簡易郵便局	12.8km 17分	
	土師下	9.7km 14分		美土里支所	11.7km 14分		向原支所	10.0km 14分	
	津々羅	10.3km 14分		塩瀬	17.2km 20分		深瀬	6.3km 9分	
平均 距離 11.2km、時間 16分			平均 距離 14.0km、時間 18分			平均 距離 10.7km、時間 15分			

<考察>

- 生徒数 ● 統合当初からクラス替えができない学年が発生。
- 校 舎 ● 築年数を見たとき、吉田中(築53年)・甲田中(築51年)・高宮中(築35年)の老朽化の状況を鑑み、校舎の長寿命化工事が必要。
- 通 学 ● 通学の利便性は高いが、道路改良が必要。

(3)' 3校案からさらに検討 ⇒2校案 案3

美土里・高宮の保護者は1校統合を望む割合が高いことから、aグループ（吉田・八千代）に編入。

区分	a + b グループ			cグループ		
場所	統合地域	吉田・八千代・高宮・美土里		統合地域	甲田・向原	
	統合校	吉田		統合校	甲田	
※現生徒数を考慮し、統合校を設定						
生徒数 学級数 見込み		令和8年度	令和15年度		令和8年度	令和15年度
	生徒数	422人	281人	生徒数	189人	109人
	1年生	4学級	3学級	1年生	2学級	1学級
	2年生	4学級	3学級	2年生	2学級	1学級
	3年生	4学級	3学級	3年生	2学級	2学級
通学	吉田中学校までの距離・時間			甲田中学校までの距離・時間		
	場所	距離・時間		場所	距離・時間	
	上根郵便局	14.6km 20分		高宮支所	17.9km 26分	
	八千代支所	10.0km 14分		生桑郵便局	21.1km 26分	
	土師下	9.7km 14分		美土里支所	13.6km 18分	
	川根エコミュージアム	26.4km 32分		塩瀬	19.1km 23分	
	平均 距離 16.5km、時間 22分			平均 距離 10.6km、時間 15分		

<考察>

- 生徒数 ● 10年以内にクラス替えができない学年が発生。
- 校舎 ● 2校を新設することは困難。
● 築年数を見たとき、吉田中(築53年)・甲田中(築51年)のどちらも老朽化が進んでおり、両校舎の長寿命化工事が必要。
- 通学 ● 通学距離があり、時間を要す。

(3) 3校案からさらに検討 ⇒2校案 案4

美土里・高宮の保護者は1校統合を望む割合が高いことから、cグループ（甲田・向原）に編入。

区分	aグループ			b + c グループ					
場所	統合地域	吉田・八千代		統合地域	美土里・高宮・甲田・向原				
	統合校	吉田		統合校	甲田又は高宮				
※現生徒数を考慮し、統合校を設定									
生徒数 学級数 見込み		令和8年度	令和15年度		令和8年度	令和15年度			
	生徒数	321人	222人	生徒数	275人	168人			
	1年生	4学級	2学級	1年生	2学級	2学級			
	2年生	3学級	3学級	2年生	3学級	2学級			
	3年生	4学級	2学級	3年生	3学級	2学級			
通学	吉田中学校までの距離・時間			甲田中学校までの距離・時間		高宮中学校までの距離・時間			
	場所	距離・時間		場所	距離・時間		場所	距離・時間	
	上根郵便局	14.6km 20分		川根コミュニティアム	25.1km 34分		生桑郵便局	13.7km 16分	
	八千代支所	10.0km 14分		高宮支所	12.5km 18分		美土里支所	11.7km 14分	
	土師下	9.7km 14分		生桑郵便局	21.6km 26分		吉田口駅	15.8km 21分	
	津々羅	10.3km 14分		美土里支所	17.2km 23分		甲田支所	12.1km 16分	
	平均	距離 11.1km、時間 16分		ひとは作業所	13.5km 18分		ひとは作業所	25.6km 33分	
				向原支所	10.0km 14分		向原支所	22.3km 29分	
				平均	距離 16.7km、時間 22分		平均	距離 21.5km、時間 23分	

<考察>

- 生徒数 ● 生徒数の差が一番小さく、10年後にも複数学級が維持できる。
- 校舎 ● 2校を新設することは困難。
● 築年数を見たとき、吉田中（築53年）・甲田中（築51年）・高宮中（築35年）の老朽化の状況を鑑み、長寿命化工事が必要。
- 通学 ● 通学距離があり、時間を要す。

(4) ポイントまとめ

【参考】統合の検討に当たって考慮すべき事項

●生徒数の予測

(令和4年5月1日現在)

年度	吉田中	八千代中	美土里中	高宮中	甲田中	向原中	合計
令和4年度	239	73	56	57	108	57	590
令和5年度	243	79	55	52	116	62	607
令和6年度	244	100	54	39	115	75	627
令和7年度	239	91	50	44	121	76	621
令和8年度	247	89	38	48	122	67	611
令和9年度	236	85	38	52	121	52	584
令和10年度	234	85	42	44	115	40	560
令和11年度	224	78	42	38	111	39	532
令和12年度	214	70	38	34	96	38	490
令和13年度	204	67	32	34	95	38	470
令和14年度	182	67	35	30	85	38	437
令和15年度	169	53	30	29	78	31	390
令和16年度	160	55	27	30	67	33	372

(単位：人)

●学級数の予測

(市内全体で一つにまとめた場合)

※学級数は40人学級で試算

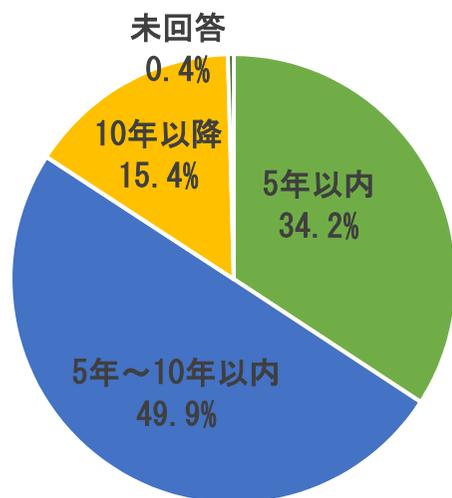
年度	生徒数 (人)				学級数 (学級)			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
令和4年度	195	205	190	590	5	6	5	16
令和5年度	207	195	205	607	6	5	6	17
令和6年度	225	207	195	627	6	6	5	17
令和7年度	189	225	207	621	5	6	6	17
令和8年度	197	189	225	611	5	5	6	16
令和9年度	198	197	189	584	5	5	5	15
令和10年度	165	198	197	560	5	5	5	15
令和11年度	169	165	198	532	5	5	5	15
令和12年度	156	169	165	490	4	5	5	14
令和13年度	145	156	169	470	4	4	5	13
令和14年度	136	145	156	437	4	4	4	12
令和15年度	109	136	145	390	3	4	4	11
令和16年度	127	109	136	372	4	3	4	11

●各中学校校舎(普通教室)の築年数等 (令和4年度現在)

中学校	構造	建築年度	築年数
吉田中学校	鉄筋コンクリート造	昭和44年	53年
八千代中学校	鉄筋コンクリート造	昭和54年	43年
美土里中学校	鉄筋コンクリート造	昭和47年	50年
高宮中学校	鉄筋コンクリート造	昭和62年	35年
甲田中学校	鉄筋コンクリート造	昭和46年	51年
向原中学校	鉄筋コンクリート造	昭和41年	56年

案	ポイント																						
1校案	「吉田町内」に新築 【参考】施設整備費（概算） 29億円																						
2校案	<ul style="list-style-type: none"> ●既存校舎の改修（長寿化工事） ●考えられる統合パターン <table border="1" data-bbox="483 432 2018 967"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校 1</th> <th>学校 2</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>案1</td> <td>吉田中学校 (吉田・八千代・美土里)</td> <td>甲田中学校 (高宮・甲田・向原)</td> <td>◆ 10年以内にクラス替えができない ◆ どちらの校舎も老朽化が進む施設</td> </tr> <tr> <td>案2</td> <td>吉田中学校 (吉田・八千代・向原)</td> <td>高宮中学校 (美土里・高宮・甲田)</td> <td>◆ 10年以内にクラス替えができない。 ◆ 高宮中校舎の築年数は新しいが、改修が必要。 ◆ スクールバスの利用者が多い。</td> </tr> <tr> <td>案3</td> <td>吉田中学校 (吉田・八千代・美土里・高宮)</td> <td>甲田中学校 (甲田・向原)</td> <td>◆ 10年以内にクラス替えができない。 ◆ どちらの校舎も老朽化が進む施設</td> </tr> <tr> <td>案4</td> <td>吉田中学校 (吉田・八千代)</td> <td>甲田中学校又は高宮中学校 (美土里・高宮・甲田・向原)</td> <td>◆ 10年後においてもクラス替えが可能 ◆ 高宮中校舎の築年数は新しいが、改修が必要。 ◆ 通学距離が長く、時間もかかる。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●2校を新築することは困難 【参考】2校新設施設整備費（概算） 45億円 ●クラス替えができない学年が発生。 				学校 1	学校 2	備 考	案1	吉田中学校 (吉田・八千代・美土里)	甲田中学校 (高宮・甲田・向原)	◆ 10年以内にクラス替えができない ◆ どちらの校舎も老朽化が進む施設	案2	吉田中学校 (吉田・八千代・向原)	高宮中学校 (美土里・高宮・甲田)	◆ 10年以内にクラス替えができない。 ◆ 高宮中校舎の築年数は新しいが、改修が必要。 ◆ スクールバスの利用者が多い。	案3	吉田中学校 (吉田・八千代・美土里・高宮)	甲田中学校 (甲田・向原)	◆ 10年以内にクラス替えができない。 ◆ どちらの校舎も老朽化が進む施設	案4	吉田中学校 (吉田・八千代)	甲田中学校又は高宮中学校 (美土里・高宮・甲田・向原)	◆ 10年後においてもクラス替えが可能 ◆ 高宮中校舎の築年数は新しいが、改修が必要。 ◆ 通学距離が長く、時間もかかる。
	学校 1	学校 2	備 考																				
案1	吉田中学校 (吉田・八千代・美土里)	甲田中学校 (高宮・甲田・向原)	◆ 10年以内にクラス替えができない ◆ どちらの校舎も老朽化が進む施設																				
案2	吉田中学校 (吉田・八千代・向原)	高宮中学校 (美土里・高宮・甲田)	◆ 10年以内にクラス替えができない。 ◆ 高宮中校舎の築年数は新しいが、改修が必要。 ◆ スクールバスの利用者が多い。																				
案3	吉田中学校 (吉田・八千代・美土里・高宮)	甲田中学校 (甲田・向原)	◆ 10年以内にクラス替えができない。 ◆ どちらの校舎も老朽化が進む施設																				
案4	吉田中学校 (吉田・八千代)	甲田中学校又は高宮中学校 (美土里・高宮・甲田・向原)	◆ 10年後においてもクラス替えが可能 ◆ 高宮中校舎の築年数は新しいが、改修が必要。 ◆ 通学距離が長く、時間もかかる。																				
3校案	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽化のため長寿命化の工事が必要 【参考】工事費用（概算） 5億9千万円～10億円 ●考えられる統合パターン <table border="1" data-bbox="483 1265 1476 1334"> <thead> <tr> <th>地域 1</th> <th>地域 2</th> <th>地域 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉田・八千代</td> <td>美土里・高宮</td> <td>甲田・向原</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●統合当初からクラス替えができない学校が発生。 			地域 1	地域 2	地域 3	吉田・八千代	美土里・高宮	甲田・向原														
地域 1	地域 2	地域 3																					
吉田・八千代	美土里・高宮	甲田・向原																					

2. 統合時期の検討



「5年～10年以内」が49.9%が一番多く、次いで「できるだけ早く」が34.2%。「10年以降」が15.5%。

【統合までの諸準備】

- ・ 新設する場合、用地の選定、用地交渉、測量、設計、建設工事等
- ・ 通学に係る運行業者との協議等
- ・ 統合準備委員会による統合に向けた諸々の準備

【令和4年度中に議決を得た場合のスケジュール（案）】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例議決 ・ 予算措置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計業務発注 ・ 統合協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備 ・ 統合協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備 ・ 引越、式典等開校準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開校

3. 当面の取組

●総合教育会議の開催

アンケート結果を基に、校数等について市長と教育委員との意見調整を行う。

●6町での説明会の開催

保護者や市民を対象として市民文化センター等で説明会を開催する。

●市民モニターによるアンケートの実施の検討

市民からの率直な意見を聴取し、推進計画の参考とする。

●パブリックコメントの実施

推進計画素案について、市民から意見を聴取する。

●教育委員会会議で方針決定

推進計画を策定し、統合の基本方針を決定する。